

シリーズ1		
タイトル	3.1.2	その他の収受・収集資料
レファレンスコード	3.1.1	GEIDAI-CA013-001
作成年	3.1.3	1933-1997, bulk 1949-1980
媒体と数量	3.1.5	封筒137件
組織歴	3.2.2	—
内容	3.3.1	松田が収受・収集した資料で構成されており、その内容にもとづいてサブシリーズが設定されている。 サブシリーズ1：手稿・メモ 松田の自筆原稿やメモ、写真、新聞切り抜きが含まれる。 サブシリーズ2：書簡・文書 松田が受け取った書簡や履歴書、その他の会議文書が含まれる。 サブシリーズ3：刊行物・パンフレット・チラシ 松田が受け取った刊行物などが含まれている。

シリーズ2		
タイトル	3.1.2	東京芸術大学関係資料
レファレンスコード	3.1.1	GEIDAI-CA013-002
作成年	3.1.3	1930-1982, bulk 1953-1982
媒体と数量	3.1.5	封筒51件
組織歴	3.2.2	1887（明治20）年 東京美術学校創立 1949（昭和24）年 国立学校設置法の改正により、東京音楽学校と合併して東京芸術大学が創立 参考資料： 東京芸術大学「沿革・歴史」 https://www.geidai.ac.jp/outline/introduction/history（2025年9月7日閲覧）
内容	3.3.1	松田権六が教授として勤務した東京美術学校および東京芸術大学における教育・研究活動および学内運営に関する記録である。松田が所属した漆芸研究室に関する記録には、カリキュラム、実習表、研究報告書、漆工品の調査カード、模写、請求書・納品書・領収書などが含まれる。また、委嘱を受けて関わった国会議事堂の漆塗装工事に関する文書群や、研究室が主体となって実施した「時代椀研究会」や「U・C・体」などの活動に関する文書も含まれる。さらに、松田が出席した教授会の会議資料も含まれている。

シリーズ3		
タイトル	3.1.2	文化財保護審議会関係資料
レファレンスコード	3.1.1	GEIDAI-CA013-003
作成年	3.1.3	1950-1978
媒体と数量	3.1.5	封筒163件

組織歴	3.2.2	1950年に文化財保護法が制定され、国宝、重要文化財、無形文化財の指定および認定をはじめ、文化財の保護に関する専門的・技術的な保護および養成事業の法整備が行われた。この法律の施行に伴い、文化財保護の専門機関として文部省の外局に「文化財保護委員会」が設置された。そして、その付属機関として「文化財専門審議会」が発足し、文化財保護に関する専門的・技術的事項の調査および審議を担った。 その後、1968年6月15日に文化庁が発足したことに伴い、「文化財保護委員会」は文部省文化局と統合されて「文化庁」に改組された。また、「文化財専門審議会」は「文化財保護審議会」へと組織改編され、引き続き文化財保護に関する調査および審議を担当した。 参考資料： 文化庁『文化財保護法五十年史』ぎょうせい、2001年
内容	3.3.1	松田が専門委員を務めた文化財専門審議会および文化財保護審議会の審議に関する記録である。開催通知、会議次第、諮問文書、議案説明書（国宝目録・重要文化財目録・文化財要覧）、関係政令規則集、会員名簿、展覧会開催報告書、買取協議案、講習会実施要項、修理計画書などが含まれる。

シリーズ4

タイトル	3.1.2	日光社寺文化財保存会関係資料
レファレンスコード	3.1.1	GEIDAI-CA013-004
作成年	3.1.3	1950-1972
媒体と数量	3.1.5	封筒20件
組織歴	3.2.2	1950年 日光二社一寺文化財保存委員会が発会 1970年 財団法人日光社寺文化財保存会として発足 参考資料： GEIDAI-CA013-004-20230506
内容	3.3.1	松田が委員を務めた日光二社一寺文化財保存委員会および日光社寺文化財保存会の修理事業に関する記録である。これには、理事会および委員会の議事次第、事業計画書、予算および決算報告書、修理工事の進捗報告書、防災計画書、各種報告書、建物平面図、記録写真などが含まれる。

シリーズ5

タイトル	3.1.2	日本芸術院関係資料
レファレンスコード	3.1.1	GEIDAI-CA013-005
作成年	3.1.3	1951-1984
媒体と数量	3.1.5	封筒91件
組織歴	3.2.2	—
内容	3.3.1	松田が会員として所属した日本芸術院の運営に関する会議、会員選考および授賞選考に関する記録である。これには、総会および委員会の会議次第、議案書、議事報告書、規則改正案、日本芸術院賞・恩賜賞および会員候補者一覧、推薦用紙、授賞式関連資料などが含まれる。

シリーズ6

タイトル	3.1.2	東京国立近代美術館評議員会関係資料
レファレンスコード	3.1.1	GEIDAI-CA013-006
作成年	3.1.3	1952-1976
媒体と数量	3.1.5	封筒21件
組織歴	3.2.2	—

内容	3.3.1	松田が評議員として関与した国立近代美術館の運営に関する記録である。これには、会議次第、事業計画書、展覧会計画案、予算見込書などが含まれる。また、東京国立近代美術館工芸館建設委員会に関する資料も含まれている。
----	-------	---

シリーズ7

タイトル	3.1.2	日展関係資料
レファレンスコード	3.1.1	GEIDAI-CA013-007
作成年	3.1.3	1952-1958
媒体と数量	3.1.5	封筒6件
組織歴	3.2.2	1907年 美術審査委員会管制が制定され、文部省第1回美術展覧会（文展）が開催 1919年 帝国美術院規定が制定され、帝国美術院第1回美術展覧会（帝展）が開催 1937年 帝国芸術院管制が制定され、第1回文部省美術展覧会（新文展）が開催 1946年 文部省主催により第1回日本美術展（日展）が開催 1947年 帝国芸術院は日本芸術院と改称され、日本芸術院会員の有志によって日展運営会が設立 1958年 日本芸術院と分離し、社団法人日展を創立 参考資料： 公益社団法人日展「沿革」 https://nitten.or.jp/org_profile （2025年9月7日閲覧）
内容	3.3.1	松田が会員として参加した日本美術展覧会および日展の運営に関する記録である。これには、運営規則、審査および出品者名簿、意見書、事業計画書などが含まれる。また、一部には書簡も含まれている。

シリーズ8

タイトル	3.1.2	東洋美術協会関係資料
レファレンスコード	3.1.1	GEIDAI-CA013-008
作成年	3.1.3	1952
媒体と数量	3.1.5	封筒1件
組織歴	3.2.2	—
内容	3.3.1	松田が評議員を務めた東洋美術協会の記録である。承諾書、会則案が含まれている。

シリーズ9

タイトル	3.1.2	日本工芸会関係資料
レファレンスコード	3.1.1	GEIDAI-CA013-009
作成年	3.1.3	1954-1983
媒体と数量	3.1.5	封筒114件
組織歴	3.2.2	—
内容	3.3.1	松田が理事および理事長を務めた日本工芸会に関する運営記録である。総会や理事会の記録には、会議次第、事業計画書、議案書、予算および収支報告書、会員認定に関する文書、定款などが含まれる。日本工芸会は、無形文化財の保護と育成を目的として、1954（昭和29）年から日本伝統工芸展を開催している。これに関する記録には、日本伝統工芸展運営委員会が作成した開催要項、会期案、出品依頼書、審査要項などが含まれる。また、日本工芸会の発会式に関する資料も含まれている。

シリーズ10

タイトル	3.1.2	日本スポーツ芸術協会関係資料
レファレンスコード	3.1.1	GEIDAI-CA013-010

作成年	3.1.3	1954
媒体と数量	3.1.5	封筒1件
組織歴	3.2.2	—
内容	3.3.1	松田が顧問を務めた日本スポーツ芸術協会に関する資料である。これには、顧問理事会の議事次第、規約、出品依頼書、懇談会案内通知、芸術競技実施要項、機関紙『体協時報』などが含まれている。

シリーズ11

タイトル	3.1.2	東京都文化財専門委員会関係資料
レファレンスコード	3.1.1	GEIDAI-CA013-011
作成年	3.1.3	1955-1968
媒体と数量	3.1.5	封筒34件
組織歴	3.2.2	—
内容	3.3.1	松田が専門委員を務めた東京都文化財専門委員会に関する記録である。これには、会議次第、会員名簿、保護条例改正案、指定基準案、予算書、調査計画案、文化財指定案、調査報告書などが含まれている。

シリーズ12

タイトル	3.1.2	パイロット万年筆株式会社関係資料
レファレンスコード	3.1.1	GEIDAI-CA013-012
作成年	3.1.3	1955
媒体と数量	3.1.5	封筒1件
組織歴	3.2.2	1918年 株式会社並木製作所創立 1938年 パイロット万年筆株式会社に改称 参考資料： 株式会社パイロットコーポレーション「歴史・沿革」 https://corp.pilot.co.jp/company/history/ （2025年9月7日閲覧）
内容	3.3.1	松田が顧問を務めた並木製作所の記録で、1955（昭和30）年に開催された国光会の展覧会に関する資料が含まれている。

シリーズ13

タイトル	3.1.2	日本国際芸術協会関係資料
レファレンスコード	3.1.1	GEIDAI-CA013-013
作成年	3.1.3	1957-1962
媒体と数量	3.1.5	封筒3件
組織歴	3.2.2	—
内容	3.3.1	松田が理事を務めた日本国際芸術協会に関する運営記録である。これには、日ソ国交回復記念日本美術展覧会およびエジプト美術展の開催に関する資料、日本国際芸術協会創立総会に関する資料が含まれている。

シリーズ14

タイトル	3.1.2	国宝中尊寺金色堂保存修理委員会関係資料
レファレンスコード	3.1.1	GEIDAI-CA013-014
作成年	3.1.3	1960-1971
媒体と数量	3.1.5	封筒27件
組織歴	3.2.2	—

内容	3.3.1	松田が修理委員を務めた国宝中尊寺金色堂保存修理委員会に関する記録である。これには、修理委員会の会議録・議題、修理計画・工程表、仕様書・報告書、漆芸や建築などの専門小委員会における審議・調査資料、覆堂（旧・新）の図面、使用する金や蒔絵、仏画面相の調査結果報告書、修理工事の進捗状況および支出予定表などが含まれている。また、修理理由や手法の検討に関する松田の説明文書も含まれている。
----	-------	---

シリーズ15

タイトル	3.1.2	アラブ連合友好協会関係資料
レファレンスコード	3.1.1	GEIDAI-CA013-015
作成年	3.1.3	1960-1970
媒体と数量	3.1.5	封筒2件
組織歴	3.2.2	—
内容	3.3.1	松田が理事を務めたアラブ連合友好協会に関する記録である。これには、理事会の議事録、役員名簿、『アラブ連合共和国ニュース特報』などの刊行物が含まれている。

シリーズ16

タイトル	3.1.2	畠山記念館関係資料
レファレンスコード	3.1.1	GEIDAI-CA013-016
作成年	3.1.3	1964-1973
媒体と数量	3.1.5	封筒3件
組織歴	3.2.2	—
内容	3.3.1	松田が理事を務めた畠山記念館の運営に関する記録である。これには、事業計画書、事業報告書、収支決算書、展覧会目録などが含まれている。

シリーズ17

タイトル	3.1.2	石川県立輪島漆芸技術研修所関係資料
レファレンスコード	3.1.1	GEIDAI-CA013-017
作成年	3.1.3	1967-1976
媒体と数量	3.1.5	封筒18件
組織歴	3.2.2	1967年 輪島市漆芸技術研修所を開設 1972年 石川県に移管、石川県立輪島漆芸技術研修所として発足 参考資料： 石川県立輪島漆芸技術研修所編『50年のあゆみ展』石川県立輪島漆芸技術研修所、2017年
内容	3.3.1	松田が講師を務めた輪島市漆芸技術研修所および石川県立輪島漆芸研修所の設立および運営に関する記録である。これには、建築計画書、事業計画書、補助金交付申請書、陳情書、カリキュラム表、受講規程、石川県立輪島漆芸研修所運営委員会などが含まれている。また、研修所の徽章も含まれている。

シリーズ18

タイトル	3.1.2	正倉院懇談会関係資料
レファレンスコード	3.1.1	GEIDAI-CA013-018
作成年	3.1.3	1968-1981
媒体と数量	3.1.5	封筒8件
組織歴	3.2.2	—
内容	3.3.1	松田が評議員を務めた正倉院懇談会に関する記録である。これには、懇談会次第、出席者リスト、正倉院宝物展観目録案、事業報告書、発掘調査報告書などが含まれている。

シリーズ19		
タイトル	3.1.2	日本文化財漆協会関係資料
レファレンスコード	3.1.1	GEIDAI-CA013-019
作成年	3.1.3	1972-1976
媒体と数量	3.1.5	封筒3件
組織歴	3.2.2	—
内容	3.3.1	松田が初代会長を務めた日本文化財漆協会に関する記録である。これには、創立総会や運営に関する資料が含まれている。
シリーズ20		
タイトル	3.1.2	世界クラフト会議日本国内委員会関係資料
レファレンスコード	3.1.1	GEIDAI-CA013-020
作成年	3.1.3	1973-1978
媒体と数量	3.1.5	封筒10件
組織歴	3.2.2	—
内容	3.3.1	松田が理事を務めた世界クラフト会議に関する記録であり、1978年（昭和53年）に京都で開催された世界会議に関する日本国内委員会の記録が含まれている。これには、設立趣意書、発起人案、会議次第、議案書、収支予算案、活動報告、会則、運営要綱、予定表などが含まれる。また、日本国内委員会の発起人である藤森健次の書簡も含まれている。
シリーズ21		
タイトル	3.1.2	永青文庫関係資料
レファレンスコード	3.1.1	GEIDAI-CA013-021
作成年	3.1.3	1975-1976
媒体と数量	3.1.5	封筒1件
組織歴	3.2.2	—
内容	3.3.1	松田が理事を務めた永青文庫の理事会に関する記録である。これには、事業報告書、財産目録、決算書、議事録、および「永青文庫特別鑑賞会」漆芸班展示品目などが含まれている。
シリーズ22		
タイトル	3.1.2	明治村関係資料
レファレンスコード	3.1.1	GEIDAI-CA013-022
作成年	3.1.3	1976
媒体と数量	3.1.5	封筒1件
組織歴	3.2.2	—
内容	3.3.1	松田が評議員を務めた明治村の運営に関する記録である。これには、事業報告書、収支決算案および予算案、事業計画書、議事録、設立趣意書、パンフレット、役員名簿、『明治村通信』などが含まれている。

※上記の表の項目は、国際標準アーカイブズ記述第2版（General International Standard Archival Description Second Edition : ISAD(G)）に準拠したものである。